

子ども心理学研究法

講義情報	
講義名:	CB-子ども心理学研究法
教員:	山極 和佳
単位:	2
学部:	
カテゴリ:	基幹科目

開講情報	
キャンパス:	
開講時期:	秋学期
開講学年:	
昼夜区分:	
曜日・時限:	

授業のテーマと目標

授業のテーマ

この授業は、心理学研究に関する一連の科目群を受講するにあたっての入門編であり、心理学研究の方法について広く学ぶことを目的としている。

講義ではまず、子ども心理学研究法の基礎となる一般的な心理学研究法を論じる。具体的には研究テーマの発見、文献の収集、仮説の構築、データの測定、分析、分析結果の解釈、考察と次の研究への展開という心理学研究の流れを確実に学習してもらおう。その上で、子どもを対象とした研究に特化した研究法についても学ぶ。

この講義で子ども心理学の基礎的な研究法を会得することにより、子ども心理学研究に対する理解力を養うと同時に、次年度以降に習得する実験科目や最終年度に取り組む卒業研究への基礎知識を獲得することを目指す。

授業の具体的目標

1. 心理学研究の諸技法について学ぶ。
2. 実際の心理学研究を概観する。
3. 実際の心理学研究について、体験的に学ぶ。

授業の内容と計画

スクーリング事前学習課題:教科書の第1～4章、8章を読んでおくこと。

第1回:授業ガイダンス

第2回:実験法による研究

第3回:実験法による研究の実際1(演習)

第4回:実験法による研究の実際2(演習)

第5回:調査法による研究

第6回:調査法による研究の実際1(演習)

第7回:調査法による研究の実際2(演習)

第8回:調査法による研究の実際3(演習)

第9回:観察法による研究

第 10 回：事例研究法による研究

第 11 回：まとめ

第 12 回：最終試験

成績評価方法と基準

1. 最終試験：(60 点)
 2. 授業参加：出席、発表、質問、議論への参加、コメント、態度、遅刻・早退、私語、など（ 40 点 ）
- 上記の総合点(100 点満点)で成績をつける。

学生へのメッセージ

「こころ」は誰もが持っているものですが、客観的に「こころ」について考えることは意外と少ないものです。子ども心理学研究法では、人のこころの法則性を客観的に追求する方法を学んでいきます。また、この授業は自らが主体的に考えること、さらに考えたことを適切に伝える訓練でもあります。授業中はもちろんのこと、授業外でも疑問に思ったことは進んで質問し、自分の意見を発表してください。

その他

この科目はスクーリング科目です。

スクーリング履修にあたっては、事前に教科書の第 1 章～第 4 章、第 8 章を読んでから参加すること。

教科書・参考書

心理学研究法入門 / 南風原朝和・市川伸一・下山晴彦編 / 東京大学出版会 / 教科書